

OSK 500U029 キューポラ炉/灰化炉



029A25/13CUP



オプションのローラー
付き台枠029A8/13
CUP

<説明>

とりわけ貴金属の用の溶銑資料用と灰化プロセス。断熱材と発熱体を噴出したガスと蒸気から保護することが必要な場合にキューポラ炉がお役に立ちます。炉室はセラミックのマッフルからなります。このマッフル部分は容易に交換することができます。キューポラ炉には扉上部吸塵装置に接続された排気煙突が統合されています。

<特長>

- 4面のマッフル加熱(029A25/13 CUP)
- マッフルによる発熱体と断熱材の保護
- マッフルの容易な交換
- 炉が温かい状態で扉を開ける事が可能
- 炉体の工具ホルダー
- 扉上部のステンレス製排気煙道、排気システムに接続
- 炉体外部の温度を減少させるための冷却送風を備えた二重壁構造のハウジング
- 操作説明書の枠内における規定どおりの使用
- 制御器についての詳細は別紙参照



ラボラトリー溶銑炉(キューポラ)としての
029A4/13 CUP

<付属装置>

- ローラー付き台枠(029A4/13 CUPの機種にはあてはまりません)

<上蓋にローラーが付いたシャフト炉>

- 大きなチャージ用にキューポラ炉としてのシャフト炉をお勧めします。



上蓋にローラーが付いたシャフト炉

<仕様>

型式	最高 温度 ℃	炉内寸法 mm			容量 L	外形寸法 mm			電気 容量 kW	電源 接続*	重量 Kg
		W	D	H		W	D	H			
029A4/13 CUP	1280	185	250	80	3.7	750	675	520 ¹	3	単相	65
029A8/13 CUP	1300	260	340	95	8.0	900	1335	2100	22	三相	510
029A25/13 CUP	1300	250	500	250	25.0	1050	1200	1520 ²	15	三相	280

¹150 mm の排ガス用煙突が加わる

²200 mm の排ガス用煙突が加わる

* 接続電源は単相の場合110V～240V、三相の場合は200V～240V、または380V～480Vで製作可能。いずれも50Hzもしくは60Hzとなります。